

講義科目 : 地域福祉論 I	単位数 : 2
担当 : 水谷 久	学習形態 : 選択科目
	社会福祉士必修科目
	実務経験 : 有

講義の内容・方法および到達目標

地域福祉における住民主体の地域福祉の創造と地域共生社会に向けた包括的支援について講義を進めます。また、この科目では、地域福祉の理念や歴史、地域における高齢者・児童を含めた子育て世代・障がい者・困窮者等の生活と暮らしに焦点をあて、誰もが安心して暮らせる地域づくりについて考えながら、地方自治体・社会福祉法人・社会福祉協議会、住民組織・NPO・ボランティアなどの機関・団体の役割と機能、その現状や課題について理解を深めることを目標とします。

授業計画

第1回	オリエンテーション	(地域福祉の基本的な考え方)
第2回	地域福祉について	(地域福祉と地域福祉活動)
第3回	地域福祉について	(地域社会の変化)
第4回	障がい者の地域生活の課題	(安心して暮らせる地域とは)
第5回	地域福祉の課題	(地域交流と地域福祉の推進)
第6回	地域福祉の課題	(健康管理対策の充実)
第7回	地域福祉活動計画について	(地域の課題・テーマ・基本目標)
第8回	地域福祉活動計画(演習Ⅰ)	(自分が住んでいる地域の課題)
第9回	地域福祉活動計画(演習Ⅱ)	(誰もが自分らしく暮らせる地域)
第10回	地域福祉活動計画(演習Ⅲ)	(住民主体による地域福祉の推進)
第11回	地域自立支援協議会	(地域自立支援協議会の概要)
第12回	地域自立支援協議会	(地域自立支援協議会の役割)
第13回	障がい者が地域で犯罪を犯したとき	(地域社会に求められるもの)
第14回	地域の役割	(自助・共助・公助)
第15回	誰もが暮らしやすい地域を目指して	(地域福祉のまとめ)

教材・テキスト・参考文献等

- ・それぞれの單元ごとに必要なプリントを作成し、講義を進めていく予定です。
- ・国家試験対策として、新・社会福祉士養成講座第9巻「地域福祉の理論と方法」(中央法規出版)を紹介しておきます。

成績評価方法

- ・毎回、講義前に出欠をとります。
- ・全講義回数の3分の2以上の出席がない場合、評価の対象外とします。
- ・成績はレポート課題又は筆記試験を50%(評価割合)、出欠状況や学習態度などを50%(評価割合)とし、総合的に評価します。

実務経験

- ・社会福祉法人の管理・運営及び障がい者等の人権擁護や地域福祉について支援活動をしている。

障がい者相談支援センター長及び地域自立支援協議会委員並びに地域福祉活動計画策定作業部会委員等の実務経験をもとに社会福祉士として地域福祉について講義を行います。

その他

- ・自らの居住する地域に関心を持って受講してもらいたいことを願います。
- ・講義の状況等により、内容を変更することもあります。